Let's try English! Vol.225

Message FROM
Nathan John Clinch
（中学校ALT）

People on the Pound: William Shakespeare

Hello everyone, it is quite cold isn’t it. I hope you are enjoying hot soups and keeping warm! Today I am going to talk about William Shakespeare, who appeared on the £20 note from 1970 until 1993. Shakespeare was a famous English playwright, poet, and actor, widely regarded as the greatest writer in the English language and a key figure of the English Renaissance. Shakespeare produced most of his known work between 1589 and 1613.As British influence increased over the globe Shakespeare became famous worldwide. His works have been consistently performed for over 400 years!

Shakespeare on the English 20 pound note (1970-1993)

There have been very many performances and adaptations of his works, he is the most performed playwright of all time. Shakespeare is very popular in Japan, where his works have been adapted for theater, film, anime, and manga since the late 19th century. One of my favorite Japanese film directors, Akira Kurosawa, made three films that were based on Shakespeare plays. These are: Throne of blood (1957) – based on Macbeth, The Bad Sleep Well (1960) – based on Hamlet and Ran (1985) – based on King Lear). They are all fine films. I recommend watching them I am also interested in Shakespeare specifically because I love language and the roots of words. Many phrases and words that are used commonly in English today are attributed to Shakespeare. Some say he invented or introduced up to 1700 words into the English Language. Certainly, if you quote Shakespeare, you may be considered erudite, but the truth is that even in common modern English (both American and British) you are likely to use or at least hear language that originated from Shakespeare quite often. Thank you for reading. See you next time.

Engraving (1880)
1880年の版画

こんにちは皆さん。だいぶ寒くなってきましたね。温かいスープを食べて暖かく過ごしてくださいね！今日はウィリアム・シェイクスピアについてお話します。彼は1970年から1993年まで20ポンド紙幣に描かれていました。シェイクスピアは有名なイギリスの劇作家、詩人、俳優であり、英語圏における最も偉大な作家であり、イギリスルネサンスの重要人物として広く認識されています。シェイクスピアは、知られている作品のほとんどを、1589年から1613年の間に執筆しました。イギリスの世界的な影響力が増大するにつれ、シェイクスピアは世界的に有名になりました。彼の作品は400年以上もの間、継続的に上演されてきました。

シェイクスピアの作品は数多くの上演や翻案が行われています、彼は、史上最も上演回数が多い劇作家です。シェイクスピアは日本で非常に人気があり、19世紀後半から彼の作品は演劇、映画、アニメ、漫画などで取り上げられてきました。私の好きな日本の映画監督の一人、黒澤明は、シェイクスピアの戯曲を基にした映画を3本作りました。『蜘蛛巣城』(1957年)(『マクベス』に基づく)、『悪い奴ほどよく眠る』(1960年)(『ハムレット』に基づく)、『乱』(1985年)(『リア王』に基づく)。どれも素晴らしい映画です。全部観ることをお勧めします。私は、言語と言葉のルーツに関心があるので、特にシェイクスピアに心惹かれています。シェイクスピアに由来するフレーズや言葉は数多くある、これらの多くは英語でよく使われています。英語に1700語もの単語を発明または導入したという説もあります。シェイクスピアを引用すれば博識だとおもわれるかもしれませんが、実際のところ、一般的な現代英語（アメリカ英語とイギリス英語の両方）でも、シェイクスピアに由来する言語をしばしば使うことがあります。少なくとも、耳にすることがしょっちゅうあるでしょう。読んでくれてありがとうございました。また次回お会いしましょう。

Heart of gold 金の心	(noun phrase) 名詞句
Kind-hearted - gold has high value, is beautiful, and doesn’t tarnish thus it’s associated with good. 心優しい – 金は価値が高く、美しく、変色しないので、良いものと関連付けられています。	
Melt into thin air 薄い空気に溶ける	(verb phrase) 動詞句
Used when the disappearance is strange or inexplicable. Going from substance, which is thick, into air, which is thin, i.e. suddenly having no substance. 跡形もなく消える-あるものが、奇妙なまたは説明のつかない消え失せ方をする。確かにあったもの空になってしまうこと、つまり突然実体がなくなることです。	
What’s done is done. 済んだことは済んだこと	(idiom) 慣用句
Something has already happened and cannot be changed, so one should accept it and move on. Unlike ‘shoganai’ there is no sense of resignation but often a positive exhortation. すでに起こってしまったことは変えられないので、受け入れて前に進むべきということです。「しょうがない」とは異なり、諦めるという意味ではなく、むしろ前向きな励ましの気持ちが込められていることが多いです。	
Method in the madness 狂気の中の方法	(noun phrase) 名詞句
一見おかしなことの裏にある理由 – often used when describing the seemingly chaotic or strange techniques used by someone, implying there is a good reason or purpose for them. Can also be used to describe the messy state of a situation or place, implying there is a logic or understanding known to the person responsible for it. 誰かが用いる、一見してわけがわからなかったり風変わりだったりする手法を説明する際によく使われ、それらには正当な理由や目的があることを暗示します。また、状況や場所が混乱した状態であることを説明する際にも使われ、それを引き起こした人物には、何らかの理由や意図があることを暗示します。	
Snatch (ed) from the jaws of death 死の顎から引き戻された	(verb phrase) 動詞句
死の淵から救われた – a poetic way to describe being saved from a life-threating situation. 命の危険にさらされた状況から救われたことを詩的に表現した言い方。	

佐久警察署からのお知らせ

110番の正しい利用

毎年１月10日は「110番の日」です。皆さま「110番の正しい利用」をお願いします。

令和７年11月末時点で
長野県内における１１０番の通報件数は　100,841件
その内の不要不急を除いた有効件数が　85,612件
1日平均約　302件　となります。

スローガン　「ためらわず　正しく使う　110番」

●110番は、緊急通報用電話です

事件や事故が発生したとき、被害者の救護や犯人検挙などの警察活動を迅速、的確に行うためのものです。相談や問い合わせは、専用電話や佐久警察署に電話をしてください。

●警察への相談は…

相談専用電話　「＃9110」(一部ＩＰ電話等でつながらない場合があります)
「026-233-9110」または佐久警察署「0267-68-0110」にお願いします。

●不要不急の110番は控えましょう

真に緊急を要する事件・事故への対応を妨げる原因になります。
不要不急の例：「ホテル客室の金庫が開かない」「いたずら電話」　など

問い合わせ先　佐久警察署交通課0267（68）0110

俳句の世界

「御代田風の道俳句会」、「五月会」から寄せられた代表作品です。

俳句　当期雑詠二字

【御代田風の道俳句会】

熊鈴を二つ鳴らして芭蕉の忌　藤井　稜雨
酉の市捩じりはちまき半被の娘（こ）　宇田川紀代子
手術終へ光改（あら）たに帰り花　渡辺美智子
出来不出来大根全部ぬいて来し　千葉　幸子
初霜や夫の珈琲ほの甘く　柏木　恵子
小夜時雨のれんの誘ふ漁師飯　金澤久美子
臭飛騨に湯がく輪切りの千大根（ほしだいこ）　井田　美乃

俳句道場【五月会】

三日目のおでんの味や妻の酌　金沢　安子
麻痺の腕家恋ふ姉や冬の虫　窪田よし子
背に重き夜半のさびしさすがれ虫　武谷美智子
赤子ごと初物セロリ横抱きに　堀篭　幸子
霜月や歪むガラスの虚子の庵　山口こさち
パステルの森を眠らせ初時雨　谷田川　武
数へ日や命を守る砂時計　湯本みつる
鵙止まり餌を梢の冬支度　吉田俊一郎

中山道六十九次をゆく【シリーズ】㉑
追分宿＊北国街道の出発地でもあり賑わいもひとしおにて江戸口近くには借宿もあり和宮降嫁時の縁起と相生とした話も残る。追分節は北前船で蝦夷地の江差に伝播して毎年九月大会有。

三味に乗る唄まぼろしの冬霞　内堀　隆久